

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
43001	X-13-B-3-430010	2	前期	【1年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×	
授業科目	担当教員			【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース				
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×	
地域統計	藤田 晴啓			【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部経営学科	×	×	×	
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×	
				【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	専門	選択	3年	
		【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	専門	選択	3年			

#### 授業目的

地域を理解し研究する手法に「地域分析」がある。地域分析では、統計および地理データを使い、地域の計量的分析および空間的分析を行い、社会経済構造の類型化、あるいは地域社会や産業構造をモデル化する研究手法が主として使われる。特に、地域の計量的分析および社会経済構造の類型化では多変量解析という統計手法が多く用いられる。対象地域の統計データを収集し、多変量解析を行い、その結果をモデル化、地図化することにより、地域社会経済構造をさらに深く調べることが可能となる。本授業では計量的分析として、地域の統計データを処理・分析する一連の手法を学習し、「地域分析」のてがかりとする。数量化理論Ⅰ類の応用としてPCを使ったExcelによる説明変数を減らす繰り返し帰帰分析の手順の実習を行う。具体的にはビール出荷量の予測およびスーパー来店客数の予測等である。

#### 各回毎の授業内容

<b>第1回</b> 【授】授業の目的、めざすところ、全15回の内容等ガイダンス 【前・後】教科書を事前に購入し「はしがき」を読んでおく。予習2時間、ノート含め復習2時間。	<b>第9回</b> 【授】PC演習第2回、スーパー来店客数を曜日、セール日、祝日で予測する 【前・後】テキスト該当部分予習2時間、ノート含め2時間。課題レポート2に2時間。
<b>第2回</b> 【授】多変量解析と地理時行列、施設へのアクセシビリティ単回帰分析 【前・後】テキスト該当部分予習2時間、ノート含め2時間。	<b>第10回</b> 【授】PC演習第3回、顧客嗜好性の項目水準影響度を比較できるコンジョイント分析 【前・後】テキスト該当部分予習2時間、ノート含め2時間。
<b>第3回</b> 【授】クラーク・ニューリングモデル（人口増加率の経年変化）、成長曲線モデル（ライオンズクラブ結成率の経年変化） 【前・後】テキスト該当部分予習2時間、ノート含め2時間。	<b>第11回</b> 【授】多次元尺度構成法事例、道路網整備による距離および費用空間の時系変化 【前・後】テキスト該当部分予習2時間、ノート含め2時間。
<b>第4回</b> 【授】地域構造を知るための因子分析（日本の経済社会構造の分析） 【前・後】テキスト該当部分予習2時間、ノート含め2時間。	<b>第12回</b> 【授】距離および費用空間の時系変化2回目、複数の非説明変数群に対応する正準相関分析 【前・後】テキスト該当部分予習2時間、ノート含め2時間。レポート課題3に2時間。
<b>第5回</b> 【授】地域事象類型化のためのクラスター分析 【前・後】テキスト該当部分予習2時間、ノート含め2時間。レポート課題1に2時間。	<b>第13回</b> 【授】複数の非説明変数群に対応する正準相関分析2回目、農業構造変化の分析 【前・後】テキスト該当部分予習2時間、ノート含め2時間。
<b>第6回</b> 【授】定性データを変数化して解析する数量化理論Ⅰ類 【前・後】テキスト該当部分予習2時間、ノート含め2時間。	<b>第14回</b> 【授】メッシュ解析、街歩きマップの分析 【前・後】テキスト該当部分予習2時間、ノート含め2時間。
<b>第7回</b> 【授】数量化理論Ⅱ類、Ⅲ類および数量化理論Ⅳ類 【前・後】テキスト該当部分予習2時間、ノート含め2時間。	<b>第15回</b> 【授】授業のまとめ 【前・後】定期試験準備4時間。
<b>第8回</b> 【授】PC演習第1回、質的データ解析のための数量化理論とダミー変数、ビール出荷量予測 【前・後】テキスト該当部分予習2時間、ノート含め2時間。	<b>第16回</b> 【授】定期試験

#### 成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験	45	20					65
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート	35						35
授業態度・授業への参加							
成果発表（口頭・実技）							
演習							
その他							

定期試験 65%、PCを使った実習課題のレポート(3回を予定)35%にて成績を評価します。レポート提出後に授業中に模範解答を提示し、解説します

#### 教科書参考書

教科書：地域分析-地域の見方・読み方・調べ方（村山佑司・古今書院）

#### 受講に当たっての留意事項

2回目の授業で指定教科書を持参していない場合は、その場で購入に行ってもらいます。レポート等の剽窃（盗用）はどちらが盗用したかにかかわらず、D判定となります。私語厳禁、まわりに迷惑を与えるので、注意は1回まで（2回目まで退席を勧告します）。スマートフォン等を許可なしに授業中使用した場合はその場で退席を勧告します。座席を指定します。コンジョイント分析は過去に本学にて実施した質問調査結果による、統計解析をおこないます。

#### 学習到達目標

地域統計のデータ構造、主要な多変量解析と応用事例を理解習得する（定期試験：25%）。主要な多変量解析事例による地域の社会・経済構造の類型化分析を把握する（定期試験：20%）。地域統計に関する変数を学び、それらをどのように解析することにより、問題解決に役立つかを理解し説明できるようになる（定期試験：20%）。主要な多変量解析事例による地域の社会・経済構造の類型化分析を復習する（レポート：35%）

#### JABEE

関連する学習・教育到達目標：H

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習